

設 立 趣 旨 書

1 趣 旨

2人に1人ががんを抱える時代です。平成19年4月にがん対策基本法が制定され、その後も補完しながら制度の充実がなされてきました。

がん患者さんを含め、家族等に対する治療・療養・あるいは生活に対する支援の取り組みは充実しつつありますが、病院を離れた地域での支援体制は全国レベルで見ても、ごく少ないのが現状です。

私たちは、がんに罹患されても「その方が病人ではなく、1人の人としてその人らしく生きる」ことができるよう支援をしたいと思っています。そのためには治療・療養・生活に加えて心のケアも大切です。

また、支援の目的は同じでも地域に適した方法が、言葉を変えれば「金沢らしい」支援の場所・対応等があると考えています。

その1つの例として、町家を所有し、誰もが気楽に「訪れやすい空間の町家」としての活動、また「食」を中心とした「対話の場」が地域に根ざした活動につながると考えています。

私たちの活動には様々な人が参加しています。

がんを抱えた方や家族、医療や介護・福祉の専門職、行政や教育の担当者、非営利団体や企業の関係者、建築家や宗教者など様々です。この多様性から様々な支援が可能と思っています。そしてこれが特定非営利活動法人としての活動に広がると考えています。

2 申請に至るまでの経過

2010年2月：活動開始、市民公開講座「がん患者さんお声からつくる支援のかたち」開催

2011年：「金沢一日マギーの実現に向けて」開催（2011年第一回から2015年まで毎年開催）

※ 角地で先進的な取り組みをしている講師を招き、情報交換を通じて金沢の特質を再認識し、最新情報を分かりやすく発信する

2013年から：月1回の定例会開始

2013年8月：県民公開講座「いのちと空間～金沢らしいマギーの実現に向けて」開催

2014年から：「金沢らしいマギーを考えるワールドカフェ」開催（2015年2回目開催）

2015年から：「食事の教室くでん」にがんとむきあう会事務局設置

2015年：がんとむくあう会のリーフレット完成・冊子完成

同年：金沢マギー開設

2016年：金沢ときどきマギー、まなびの教室開設